1　随想1

■ルリボシカミキリの青

現代文編	教科書 p. 16〜21	組　番	名前	／50

一　傍線部の漢字の読みを書け。　各1点［8］

(1) 羽の美しい斑点。［　　］
(2) 漆を塗る。［　　］
(3) 群青色の空。［　　］
(4) 硬質のガラス。［　　］
(5) カマキリの触角。［　　］
(6) 卵の殻を破る。［　　］
(7) 古戦場の跡を歩く。［　　］
(8) 捕虫網と虫かご。［　　］

二　傍線部の片仮名を漢字に直せ。　各1点［8］

(1) ダッピを繰り返す。［　　］
(2) スデに終了した番組。［　　］
(3) 事件のショウコ。［　　］
(4) ユウビな舞を見る。［　　］
(5) 平和をキキュウする。［　　］
(6) 制度をハイシする。［　　］
(7) ホンダナにしまう。［　　］
(8) コンチュウの図鑑。［　　］

三　傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。　各2点［8］

(1) 窓から外をナガメル。［　　］
(2) 有名人にアコガレル。［　　］
(3) 購入をアキラメル。［　　］
(4) 木がクチル。［　　］

四　傍線部の漢字の読みを書け。　各1点［8］

(1) ①把握［　　］　②握る［　　］
(2) ①凝視［　　］　②凝らす［　　］
(3) ①瞬間［　　］　②瞬く［　　］
(4) ①飽和［　　］　②飽きる［　　］

五　傍線部の漢字と同じ読みを含むものを、後からそれぞれ一つずつ選べ。　各2点［4］

(1) 名前の由来を知る。［　　］
　ア　理由　　イ　経由　　ウ　由緒
(2) 歴史に興味を持つ。［　　］
　ア　即興　　イ　興奮　　ウ　振興

六　次の熟語の類義語になるように、後の【語群】の片仮名から一つずつ選んで漢字に直せ。　各2点［4］

(1) 高名　＝　［　　］
(2) 丹念　＝　［　　］

【語群】
メイジン　　ニュウネン
チョメイ　　シンネン

七　□に体を表す漢字一字を入れて、後の意味を表す慣用句を作れ。　各2点［8］

(1) □が長い［　　］
（意味）人の家を訪ねて長居すること。
(2) □が軽い［　　］
（意味）秘密を不用意に話してしまうこと。
(3) □を澄ます［　　］
（意味）聞き逃さないように聞くこと。
(4) □から手が出る［　　］
（意味）強く欲しいと思うこと。

八　次の言葉の使い方として正しいものを、後から一つ選べ。　各2点［2］

(1) 紛れもない［　　］
　ア　親切にしていただいて紛れもないことだ。
　イ　彼が立ち寄ったのは紛れもない事実だ。
　ウ　彼は紛れもない生き方をしている。
　エ　紛れもないことには巻き込まれたくない。